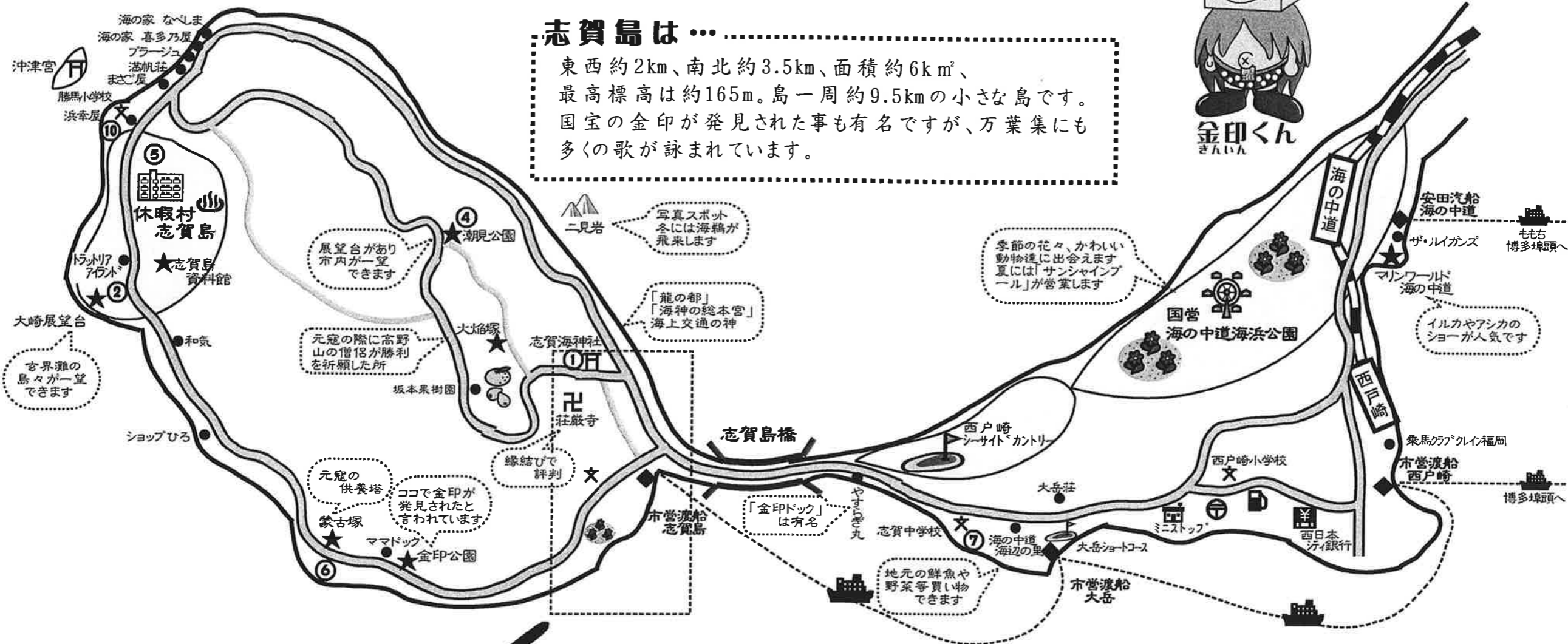


# ようこそ 志賀島へ

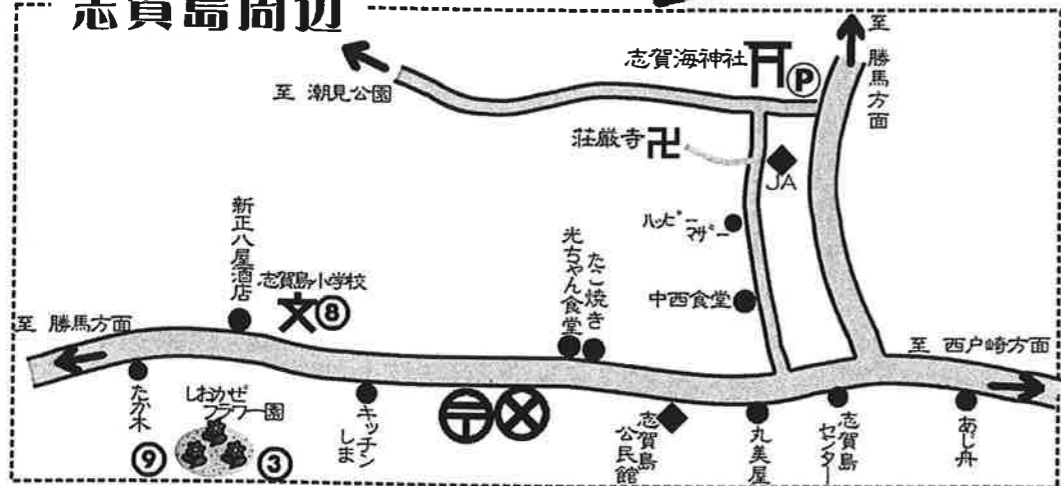


## 志賀島は...

東西約2km、南北約3.5km、面積約6km<sup>2</sup>、  
最高標高は約165m。島一周約9.5kmの小さな島です。  
国宝の金印が発見された事も有名ですが、万葉集にも  
多くの歌が詠まれています。



## 志賀島周辺



## 万葉歌碑

- ①1号碑 志賀海神社の境内
- ②2号碑 アイランド裏手の丘
- ③3号碑 志賀島小学校前の海岸
- ④4号碑 潮見公園
- ⑤5号碑 休暇村前(荒雄の碑)
- ⑥6号碑 蒙古塚前の海岸
- ⑦7号碑 志賀中学校の校庭
- ⑧8号碑 志賀島小学校の体育館前
- ⑨9号碑 3号碑西200m
- ⑩10号碑 中津宮の海岸

## 国宝『金印』

西暦1784年(天明4年)志賀島西側海岸の田を耕している時に偶然発見されました。  
「後漢書」に、「西暦57年(日本では弥生時代)、奴の国の使者に光武帝(皇帝)より印綬を授ける。」とあり、この金印の事といわれています。「かんのわのなのこくおう」と読むのが定説となっています。  
明治時代に国宝となり、昭和29年に改めて第一級の国宝に指定され国立博物館に保管されました。昭和54年黒田家から福岡市に寄贈され、現在は福岡市博物館にて一般公開されています。

